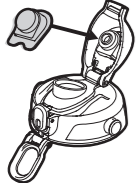


## パッキンの取りつけ方 正しく取り付けられないと、もれの原因となります。

お手入れなどで、ふたパッキンやせんパッキンを取りはずした後は、次の内容を読んで正しく取りつける。

### ふたパッキンの取りつけ方

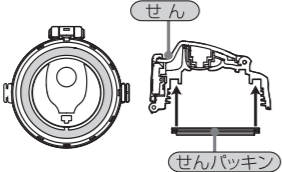
ふたパッキンの凹部をふたの凸部にしっかりと押し込む。



※正しく取り付けないと、飲みものもれの原因となります。

### せんパッキンの取りつけ方

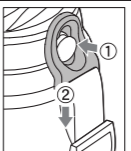
せんにはめ込み、指でまんべんなく押さえ、浮いていないことを確かめる。



## 下げひもセットの着脱と底カバーの取りつけ方

### 下げひもセットの着脱方法

- フックの穴をせんの突起部にはめ込む。
  - カチッと音がするまで下方向に引っ張る。
- ※取りはずしは、つけるときの逆手順でおこなってください。



### 底カバーの取りつけ方

- 底カバーを本体の底に合わせてしっかりと取りつける。
- ※取りつける時は十分乾燥させてからおこなってください。
- サビや底カバーの抜け落ちによるけが、破損などの原因となります。



## ベルトのたたみ方

- ベルトパッドをベルトの中央をもってきます。
- ベルトをベルトパッドの下に折り、反対側を上におります。
- 何度か②を繰り返し折りたたみ、お好みの長さでベルトパッドを巻きます。



※ベルトの折りたたみ方によりベルトパッドの向きが変わります。

## 赤サビ状の斑点や水アカなどのお手入れ

使用中、水質や不純物などにより本体内部に「赤サビ状の斑点」が出たり「水アカ」が付着することがあります。このような場合は、以下の手順でお手入れしてください。

- 規定量の熱湯にクエン酸を約20g加える。
  - 約3時間後に柄のついたスポンジブラシなどで内側を洗い、水で十分にすすぐ。
  - 十分に乾燥させる。
- ご使用前、ご使用後は十分にお手入れをしてください。においを防ぎ清潔にご使用いただけます。
  - 他のものと一緒に手入れするときは、製品に傷がつかないようにご注意ください。

## こんなときは

次の項目について確認をおこなってください。いずれの場合もあてはまらない場合は、お客様相談窓口へご相談ください。

症状	確認するところ	処置
■ふた・せんからもれる	パッキンが正しく、しっかり取り付けられていますか。  安全ロックやせんがしっかりとしまっていますか。	パッキンの取り付け位置や方向、浮きがないことを確認してください。  しっかりとしめなおしてください。
	パッキンが汚れていませんか。	「お手入れ方法」を参考にし、お手入れをしてください。
	飲みものを入れすぎていませんか。	規定量になるまで飲みものを減らしてください。
■飲みもの(本体内部・せん)がにおう	飲みものを長時間入れたままにしたり、本体内部、せんユニットやパッキンに茶しぶなどの汚れが付着していませんか。	「お手入れ方法」を参考にし、お手入れをしてください。汚れが落ちにくい場合はクエン酸をご利用ください。
■保冷が効かない	十分に冷たい飲みものを入れていませんか。  飲みものの量が少なすぎませんか。	十分に冷たい飲みものを規定量まで入れてください。  氷をたくさん入れたり、飲みものの量を多くすると効果的です。

※せんユニット・ふたパッキン・せんパッキンは消耗品です。使用後半年から1年を目安にご確認ください。

## アフターサービス部品について

本取扱説明書に記載されている製品の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後5年となっております。その他、製品に関してのお問い合わせにつきましては、お買上げの販売店もしくは弊社のお客様相談窓口にてご相談ください。

## 消耗部品のご購入について

製品型名・容量・色柄・部品の正しい名称をご確認のうえ、下記方法でお求めください。(製品型名は製品底面に貼ってあるラベルに記載されています。)

- ホームページ……トップページのオンラインショップからお求めください。(取扱部品に限られておりますが、ご了承ください。)
- 販売店……ピーコック製品を取扱っている販売店でお取り寄せください。
- お客様相談窓口……お電話もしくはFAXにてお申込みください。

部品名	
AJK型	せんユニット(せん・せんパッキン、ふたパッキン)
AJK型	せんパッキン
AJK型	ふたパッキン
AJK型	★底カバー
AJK型	下げひもセット(フック・ベルト・おくり・ベルトパッド)

※各消耗部品については、各部のなまえの項目をご覧ください。  
★本体容量によって部品のサイズが異なります。

ホームページアドレス <https://www.the-peacock.co.jp>

## お客様相談窓口 0570-094891

- 受付時間 9:00~12:00 13:00~17:00  
月曜日~金曜日(祝日・弊社休業日を除く)
- ナビダイヤルがご利用いただけない場合はこちらへ  
06-6453-9489
- FAXでのお問い合わせ FAX番号 06-6453-9589  
製品型名(品番)・お問い合わせ内容と、お客様のお名前・ご住所・電話番号・FAX番号を記入のうえ、FAXでお問い合わせください。



ピーコック魔法瓶工業株式会社

〒553-0002 大阪市福島区鷺洲5丁目12番20号

## Peacock

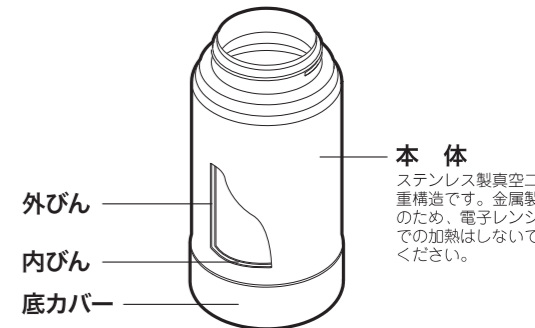
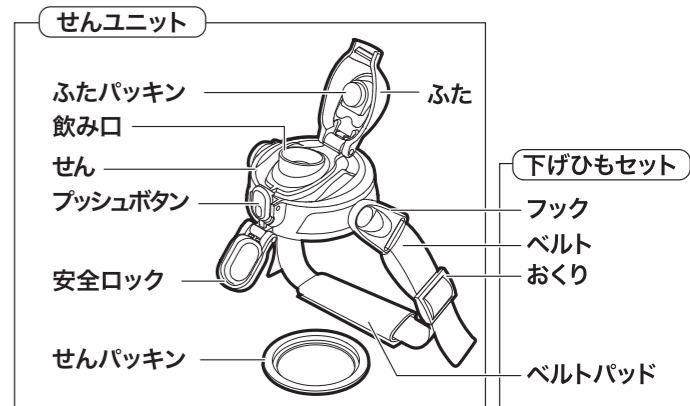
保冷専用

## ストレートドリンクタイプ 取扱説明書

AJK型

このたびは、ピーコック製品をお買い上げいただきありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。また後々のため、この取扱説明書を大切に保管してください。

## 各部のなまえ



取扱説明書中のイラストは、実際のものとは異なる場合があります。①

# 安全上のご注意

もれやあふれは他のものを汚す原因となります。

## 飲みものの保冷以外に使用しない

- **ドライアイス・炭酸飲料など**  
本体内の圧力が上がり、せんユニットがあかなかったり、水がふき出たり、部品が破損して、けがなどのおそれ。
- **みそ汁やスープなど、塩分を多く含んだもの**  
サビ・保冷効果の低下の原因。
- **牛乳・乳飲料・果汁など**  
腐敗・変質・サビの原因。そのまま長く放置した場合、腐敗・変質によりガスが発生して、本体内の圧力が上がり、水がふき出たり、部品が破損してけがなどのおそれ。
- **果肉・お茶の葉など** もれなど故障の原因。

絶対に  
入れ  
ない

- **乳幼児の手の届くところには置かない。またいたずらに注意する。**  
けがなど危険。
- **熱い飲みものは絶対に入れない。** やけどのおそれ。

- **飲みものの量は、図の規定量までにする。**  
入れすぎると、もれ・あふれのおそれ。
- **ストーブやコンロなど火のそばに近づけない。** 変形・変色の原因。

- **倒したり、落としたりぶつかけたり、強い衝撃を与えない。**  
破損・保冷効果の低下・サビ・塗装はがれ・水がもれる原因。
- **製品の横置きは避ける。** もれるおそれ。

- **飲みものを入れた場合は、使用後、すぐにお手入れをする。**  
外出時など十分なお手入れができないときでも、すぐに本体内部をよく水ですすぐ。帰宅後に、十分お手入れをする。カビの発生・サビ・穴あきなど故障の原因。

- **飲みものを入れた状態で長く放置しない。** 腐敗・変質の原因。
- **大きな氷を入れる場合は、押し込まず小さくして入れる。また、アイスピックなど先のとがったもので突かない。** 傷・もれ・変形など故障の原因。

- **せんユニットは確実にしめて使用する。安全ロックも確実にしめ、本体を傾けたりして飲みものがもれないことを確認する。**  
確実にしめないと、もれるおそれ。

- **せんパッキン・ふたパッキンは必ずつけた状態で使用する。**  
もれ・衣服を汚す原因。

- **せんやふたを持って運ばない。**

- **底カバーを持って逆さにしない。**
- **パソコン・携帯電話・デジタルカメラ等の精密機械と一緒に持ち運ばない。** 万一飲みものもれがあった場合、精密機械の破損の原因。

- **自動車運転中は使用しない。**  
車内や衣服を汚す原因。運転者の場合、運転への注意が散漫となり危険。

- **改造や分解修理はしない。** 故障や事故の原因。

- **冷凍庫に入れない。** もれなど故障の原因。

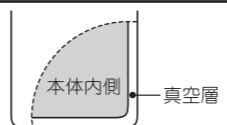
- **下げひもセットを持って振りまわさない。** 故障や事故の原因。

- **下げひもセットを首から下げたまま遊んだり、周囲のものに引っかかったり、乱暴な取り扱いは絶対にしてしない。** 故障や事故の原因。

- **本体の底に貼ってある保護シールは絶対にはがさない。**  
はがすと保冷効果が低下するおそれ。

真空層の内部から水の音がする場合は、使用しない。

保冷効果が低下するおそれ。真空層にたまった水が本体内部にしみ出した場合、飲んで体調不良を起こす原因。

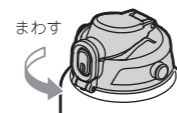


# ご使用方法

ご使用前にせんユニット・内びんを洗ってからお使いください。

## 1 せんユニットをはずす

本体からせんユニットを矢印の方向にまわしてはずす。

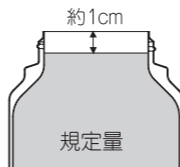


## 2 飲みものを入れる

※あらかじめ少量の冷水を入れ、1分程度予冷するとより効果的です。

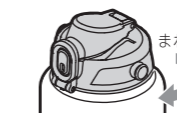
※飲みものの量は図の規定量までにする。

飲みものを入れすぎてせんユニットをしめると、飲みものがふき出したり後からもれ出すことがあります。飲みものを入れすぎた場合は、規定量になるまで飲みものを減らしてから、せんユニットをしめてください。



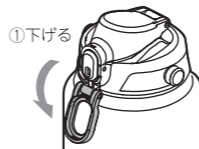
## 3 せんユニットをしめる

ふたをしめた状態で、せんユニットを矢印の方向にまわして確実にしめる。



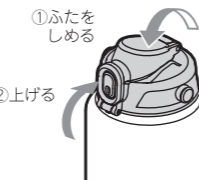
## 4 ふたをあけて飲みものを飲む

- ①製品を立てた状態で安全ロックを下げる。
- ②プッシュボタンを押してふたを開け、ゆっくり傾けながら飲みものを飲む。



## 5 飲み終わったら

- ①飲み終わったら、製品を立てた状態でふたをカチッと音がるまで確実にしめる。
- ②安全ロックを上げて、ロックする。



# お手入れ方法

- ◆ご使用後は、必ずその日のうちにお手入れする。
- ◆お手入れをするときは、やわらかいスポンジ以外は使用しない。
- ◆においを防ぐため、こまめにお手入れをする。

## 本体外側・せんユニット

水またはぬるま湯で薄めた台所用中性洗剤をスポンジに含ませて洗い十分にすすぎ洗いした後、すぐに乾いた布で水分をふきとる。※つけ置き洗いはしない。

## 本体内部

水またはぬるま湯で薄めた台所用中性洗剤を柄のついたスポンジブラシなどに含ませて洗い十分にすすぎ洗いした後、水分が残らないよう、乾燥させる。※つけ置き洗いはしない。

## パッキン

せんから取りはずし、水またはぬるま湯で薄めた台所用中性洗剤をスポンジに含ませて洗い十分にすすぎ洗いした後、すぐに乾いた布で水分をふきとる。その後P.5(パッキンの取りつけ方)を参考にして、せんに確実に取りつける。(パッキン表面にゴミなどが付着していると、もれの原因)

## 底カバー

底カバーを本体から取りはずし、ぬるま湯か水で丸洗いし、十分に乾燥させてからP.5(底カバーの取りつけ方)を参考にして取りつける。※つけ置き洗いはしない。

## 下げひもセット

湯を含ませたやわらかい布を固くしぼり、汚れをふきとる。その後日陰で干す。※つけ置き洗いはしない。

## お手入れ上の注意

お手入れ前によくお読みのうえ、必ずお守りください。

- 塩素系漂白剤は使用しない。 サビ・穴あきなど故障の原因。
- 本体外側は、漂白剤を使用しない。 サビ・塗装はがれのおそれ。
- 本体内部に酸素系漂白剤を使用する際は、せんユニットを取りつけない。 本体の内圧が上がったり、せんユニットが飛び出すなど危険。
- シンナー・ベンジン・金属たわし・たわし・みがき粉・クレンザー・化学ぞうきん・台所用以外の洗剤などは使用しない。 傷・サビなど故障の原因。
- 本体・せんユニットの煮沸および食器洗浄機・食器乾燥機などの使用はしない。 傷・サビ・変形・もれなど故障の原因。
- 本体は丸洗いできますが、つけ置き洗い(水中に放置)はしない。
- 本体を丸洗いした後は、必ず水分をふきとる。 ふきとらないと、水滴のあとが残ったり、サビや他のものを汚す原因。
- 長時間ご使用にならないときは、よくお手入れをして汚れを落とし、十分乾燥させて高温多湿を避けて保管する。